

イラン

主要データ

国名〔英名〕	イラン・イスラム共和国〔Islamic Republic of Iran〕
面積(km ²)	1,648,195
海岸線延長(km)	2,440
人口(百万人)	81.8
人口密度(人/km ²)	49.6
GDP(十億 US\$)	387.6
一人当り GDP(US\$)	4,736.98
主要鉱産物：鉱石	鉄鉱石、鉛、亜鉛、銅、クロム、マンガン、モリブデン
主要鉱産物：地金	銅、鉛、亜鉛、アルミニウム
鉱業管轄官庁	産業鉱山貿易省(Ministry of Industry, Mine and Trade)
鉱業関連政府機関	イラン鉱業協会 (Iranian Mining Engineering Organization, IME)、イラン地質調査所 (Geological Survey of Iran)、イラン商工鉱業農業会議所 (Iran Chamber of Commerce, Industries, Mines & Agriculture, ICCIMA)
鉱業法	Mining Act(2013)
ロイヤルティ	-
外資法	Foreign Investment Promotion and Protection Act, FIPPA(2002)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	-
国営鉱業企業・鉱業公社	イラン鉱山鉱業開発機構 (Iranian Mines and Mining Industries Development and Renovation Organization, IMIDRO)、銅鉱山公社 (National Iranian Copper Industries Company, NICICO)、国営鉄鋼公社 (National Iranian Steel Company, NISCO) 等
鉱業活動中の民間企業	Iran Zinc Mines Development Company、Bagh Darreh Mining Cooperative Co 等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし
2015年以降のトピックス	・2013年8月に保守穏健派のロウハニ師が大統領に就任して以降、核問題が進展し、2015年7月に共同包括行動計画(JCPOA)が最終合意に達し、2016年1月16日、P5+1(米英仏露中+独)及びイランがJCPOAの履行を宣言したことを受け、経済制裁が解除・緩和された。

1. 鉱業一般概況

イランは、経済規模及び人口においていずれも中東第2位の地域大国。しかしながら、核開発問題により国際社会から経済制裁措置を受け、長期にわたり経済低迷が続いた。その後、核開発問題の改善に応じて経済も持ち直し、2014年の実質GDP成長率は3.0%に回復した (IMF調べ)。

イランの北西から南東にかけて、ルーマニア、セルビア等からインドネシアにかけて約12,000km続く”Tethyan Metallogenic Belt”と呼ばれる金属鉱床地帯が横断している。このため、イランは銅の

ほか、クロム、モリブデン、鉄鉱石、亜鉛、鉛など様々な金属鉱物資源に富んでおり、石油・天然ガスはもとより石炭などを含む鉱業も盛んな国である。中でも銅については、Tethyan Metallogenic Belt に沿って中東地域最大の埋蔵量を有しているとされる。

2. 鉱業政策の主な動き

イランは、核開発問題により米国をはじめ国際社会から制裁措置を受けていたが、2013年6月の大統領選挙で当選した保守穏健派のロウハニ師が8月に大統領に就任して以降、核開発問題の解決に意欲を見せ、核交渉が大きく進展した。2013年11月には国連安全保障理事会の常任理事国5カ国及びドイツの6カ国との間で暫定合意に達し、ジュネーブ合同行動計画において濃縮ウランの製造停止、ウラン濃縮可能な核施設への査察受け入れ等の見返りとして経済制裁の緩和を受けることとなった。その後2016年1月16日、P5+1及びイランがJCPOAの履行を宣言したことを受け、経済制裁が解除・緩和された。

同国では国力増強に向けて、第5次国家開発計画（2011年～2015年）において鉱物資源の生産拡張を目標に掲げている。IMIDROによれば、2025年までに生産能力を鉄鋼5,500万t、銅地金80万t、アルミニウム150万t、亜鉛30万t、金5tまで増強としている。なお、これらの達成には4,000億US\$の投資が必要とされており、経済制裁解除を前に各国政府及び企業との間で投資協力の協議が活発化している。

イランにおける全ての鉱業活動及び鉱山業は産業鉱山貿易省(Ministry of Industry and Mines)が所管しており、その傘下にイラン鉱山鉱業開発機構(IMIDRO: Iranian Mines and Mining Industries Development and Renovation Organization)及びイラン地質調査所が設置されている。

IMIDROは、国内の大規模鉱山を運営するとともに、鉱山及び鉱業関連業の開発（民間セクターが必要とするインフラの整備、必要な機械設備の供給に向けた投資、研究プロジェクトへの支援等）を行っている。

NICICO(National Iranian Copper Industries Co.)は、同国で銅生産を行う主要企業（公的な性格の強い株式会社）であり、Sarcheshmeh, Miduk, Sungunの主要3鉱山を保有しており、銅及びモリブデンの精鉱や銅地金の生産のほか、資源探査等を行っている。

イランの鉱業法は1998年に制定され、その後2011年と2013年に改正がなされた。探鉱権及び採掘権は産業鉱山貿易省が所掌している。なお、外国企業及び個人による探鉱権及び鉱業権の取得に制限はなく、ロイヤルティ率については案件ごとに決定される。外国投資に関しては外国投資誘致保護法(Foreign Investment Promotion and Protection Act, FIPPA)に規定されている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2012年 (千t)	2013年 (千t)	2014年 (千t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
銅	245.2	222.7	199.4	-10.5	1.1	16
鉛	35.6	40.1	45.6	13.8	0.8	12
亜鉛	138.0	134.0	139.0	3.7	1.0	16
ボーキサイト	600.0	900.0	900.0	0.0	0.3	19
クロム	447.8	427.5	494.3	15.6	1.7	8

世界の鉱業の趨勢 2016

マンガン	172.6	135.0	135.0	0.0	0.3	16
モリブデン	3.0	3.0	3.1	2.1	1.0	9
鉄鉱石	45,717.4	48,690.0	51,573.5	5.9	1.6	9

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2015)

(2) 主要金属地金生産量
表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2012年 (千t)	2013年 (千t)	2014年 (千t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
亜鉛	148.0	140.0	142.0	1.4	1.0	20
鉛	93.7	76.0	66	-13.2	0.8	12
電気銅	269.2	224.1	240.0	7.1	0.8	23
電気銅 (SxEw)	12.5	13.7	11.9	-13.1	0.3	13
アルミニウム	336.5	331.9	302.0	-9.0	0.6	21

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2015)

(3) 主要金属消費量

僅少

(4) 主要金属輸出量
表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2012年 (千t)	2013年 (千t)	2014年 (千t)	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
銅地金	95	52	-	-	トルコ、中国
鉛鉱石	35	22	34	54.5	中国、インド
亜鉛鉱石	23	25	14	-44.0	中国

(出典：Copper Bulletin May 2015, World Lead and Zinc Statistics May 2015, International Trade Centre)

(5) 主要金属輸入量

僅少

4. 鉱山・製錬所状況
表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(%)	鉱種	生産量 (千t)	備考
Kerman 鉱山	Geological Survey of Iran (50)	銅 金	-	
Sarcheshmeh Complex 鉱山	NICICO (100)	銅 モリブデン	640	生産能力
Sungun 鉱山	NICICO (100)	銅 モリブデン	300	生産能力
Shahre Babak Complex 鉱山	NICICO (100)	銅	-	
Miduk 鉱山	NICICO (100)	銅	150	生産能力
North East 鉱山	Ehya Sanaya Khorsassan Company (100)	銅、金	-	
Angouran 鉱山	Iran Zinc Mine Development Co (100)	亜鉛	750	生産能力
Calcimine 鉱山	Calcimine Public Co (100)	亜鉛	-	

Emarat 鉱山	Ber-Oner Tehran Co (100)	亜鉛	150	生産能力
Irankouh Complex 鉱山	BAMA Co (100)	亜鉛	100	生産能力
Koushk 鉱山	Bafgh Mining Co (100)	亜鉛	120	生産能力
Bafgh-e-Yazd 鉱山	National Iranian Steel Co (100)	鉄鉱石	-	
Chadormalu 鉱山	Chadormalu Mining Industrial (100)	鉄鉱石	16,000	生産能力
Chah Gaz 鉱山	National Iranian Steel Co (100)	鉄鉱石	-	
Choghart 鉱山	Central Iron Ore Co	鉄鉱石	3,250	生産能力
Gole Gohar 鉱山	National Iranian Steel Co (51), Islamic Repub of Iran Gvt (49)	鉄鉱石	-	
Jalal Abad-e-Zarand 鉱山	National Iranian Steel Co (100)	鉄鉱石	2,000	生産能力
Sangan 鉱山	National Iranian Steel Co (100)	鉄鉱石	2,600	生産能力
Jajarm 鉱山	Iran Alumina Co (100)	ボーキサイト	800	生産能力
Gachin 鉱山	Islamic Repub of Iran Gvt (100)	ウラン	-	
Saghand 鉱山	Islamic Repub of Iran Gvt (100)	ウラン		2013年Q2より生産開始

(出典：USGS Minerals Yearbook 2016、他)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	権益所有企業(%)	鉱種・形態	生産量(千t)	備考
Sarcheshmeh Copper 製錬所	NICICO (100)	銅	145	生産能力
Sarcheshmeh Copper 精錬所		銅	240	
Sarcheshmeh Copper SxEw		銅	12	
Khatoon Abad 精錬所	NICICO (100)	銅	80	生産能力
Arak 製錬所	IMIDRO (100)	アルミニウム	230	生産能力
Bandar Abbas 製錬所	Almahdi Hormozal Aluminum Co	アルミニウム	257	生産能力
Bafgh Zinc 製錬所	Bafgh Zinc (100)	亜鉛	30	生産能力
Dandi 精錬所	Calcimine (Iran Zinc Mine Development Co.) (100)	亜鉛	80	生産能力
Zanjan 精錬所	NICICO (100)	亜鉛	40	生産能力

(出典：USGS Minerals Yearbook 2016等)

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	企業名(権益%)	備考
Dar Alou	銅	NICICO (100)	建設段階
Chah Firooz	銅	NICICO (100)	建設段階
Chehel Kureh	銅	NICICO (100)	建設段階
Taft Complex	銅	NICICO (100)	建設段階
Haft Cheshmeh	銅	NICICO (100)	FS 段階
Iju	銅	NICICO (100)	FS 段階
Kahang	銅	NICICO (100)	FS 段階
Chah Mesi	銅	NICICO (100)	開発段階

(出典：各社 HP 等)

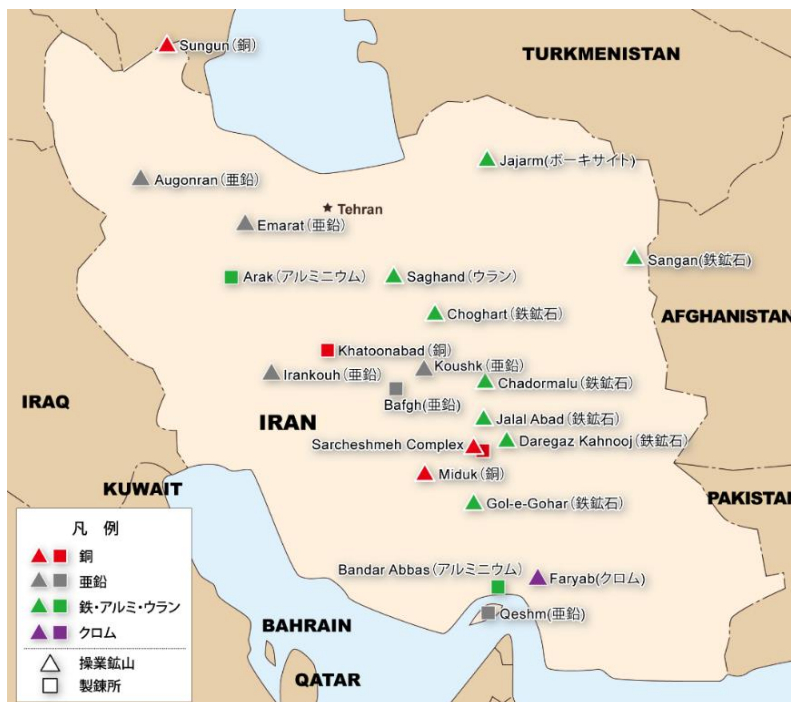


図 1. 主要鉱山、製錬所位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

実績なし

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

・ 経済制裁解除・緩和の動きに合わせて、IMIDRO 幹部が Rio Tinto や Glencore, Trafigura, Aurubis といった海外メジャー等と会合を重ね、外資参入を積極的に呼び掛けを行っていると思われる。また、NICICO でも投資金額€3.4B 以上もの銅鉱山関連施設・設備の拡張費用を工面するために積極的に外国企業に動いている模様。

(2016. 8. 24 ロンドン事務所 粕谷直樹)